

自然発見・子ども探検隊

2018年8月25日（土）

講師：深串泰光氏（森林インストラクター）

参加者：大人 17名 子ども 9名

共催：日比谷公園サービスセンター

協力：株式会社 出版ワークス



心配していた台風をよそに猛暑日となった8/25(土)、暑さに負けない元気な子供達と共に自然観察会を行いました。はじめに今回の観察会を共催して下さいました日比谷公園サービスセンターのセンター所長さんから公園の概要についてご説明していただきました。深串さん（クッシー隊長）の号令で「感性の準備体操」で五感を研ぎ澄まして観察会の開始。クッシー隊長から繰り出される難問に大人も子供も果敢に挑戦していきます。「ハッパにできたコブをさがせ!」「ハッパを半分にして白い糸をのばせるものを探せ!」「アワのたつ実を見つけてみよう!」。真っ先に見つけるのはたいてい子供達です。「セミのぬげがらをさがせ!」はこの季節ならではの。抜け殻の形や色からそこから抜け出した蝉の性別や種類までわかることを知ると、子供達は大量の抜け殻を集めてきました。「これはアブラゼミのメスだ!」と1つわかる度に子供達は大喜びでした。カタバミの葉をこすって10円玉をピカピカにしたり、水の入ったペットボトルの中にムクロジの実を入れてシャカシャカ振れば石鹼水が出来たり、体験を積み重ね、今まで知らなかった植物の「力」に驚き、ゲームを楽しみながら自然の不思議さや季節を感じ取ることができました。また今回の自然観察会は絵本作家の松本聡美さんとのコラボ企画。感性の準備体操の合間に松本さんご自身による絵本の読み聞かせを行っていただきました。松本さんの語り引き込まれるように、子供達の真剣なまなざしと笑い声が木陰の下で響き合っており、とても魅力的な自然観察会になりました。振り返りは夏休み企画にふさわしい絵日記。木のテーブルを囲んでみんなで思い思いの絵を描きました。これで夏休みの宿題も完璧! 参加者の皆様、大変お疲れ様でした。ご同行して下さいました日比谷公園サービスセンターの皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

(文責：柳澤)

